

子供と教師が共に暮らし、おりあう中に



静岡大学教授 ● 馬居政幸

1 お田さんに教える子供

「週日、修学旅行にてかけたが、本校では小遣いの上限は定めていない。子供の自己判断である。『お田さんが修学旅行のお金三千八百円じやたりないって言うけど、十分たりののでうまくなつてくさせます』これは事前事後指導の日記に書かれたものである。強制的な指導ではこのような言葉はでてこない。子供の心にくいいる指導があつてこそと思う。」

静岡県の藤枝市立青島小学校の『実践記録集Ⅳ』（平成7年度）の「まえがき」に、校長の成岡桂三先生が書かれたものの一節である。

私は感動した。四年前に就任した成岡新校長が、「遠足の小遣いをいくらしにしますか」と尋ねた先生に、「そんなことを教師が決めるから子供は自分で判断しなくなる」と厳しく指導したことから、青小の新たな実践が始まったことを知っていたからである。

それから四年、「子供の心にくいいる指導」と校長が記した先生方の努力はどのようなものだったのか。

2 自立は教師から

青小の学校教育目標は、「自立できる子供」。ただし、共通なのはこの目標だけ。「自立できる子供」とは、「自分

の考えをもち、物事を自ら判断し、行動する力を身につけた子供」である。自ら判断できない教師に、自ら判断できる子供を育てられない。学級経営から授業研究まで全て子供たちとともに創造していくのが原則である。

だがこれは大変なこと、当初、先生方は戸惑い悩んだ。そして得た結論は簡単なこと。教師が思い通りに教えようとするから大変になる。子供は自ら育つ存在、それをいかに支え助けるかが教師の課題、と発想を転換した。

子供は可能性に満ちた存在。問題は教師がどこまで子供を「信頼」して、「可能性を見出す」ことができるかどうか。教師の課題は、子供が自分を自在に表現できる「雰囲気」と「機会」という「場」を用意すること。その第一歩が学級目標づくりである。

3 子供がつくる学級目標と合言葉

青小の教室を回って気付くのは学級目標のユニークさ。全て子供たちの手作り。マンガ、写真、イラスト、貼り紙、切り絵と何でもありである。

たとえば村松もえ子先生が担任する六年五組。黒板の上に「6年5組は夢の実現集団」と大きく書いた紙に、ポスターを決めた一人一人の写真と学習目標がはられている。おせじにもきれい

といえない。だが、子供たち一人一人の笑顔が躍動している。その誕生秘話を村松先生が語ってくれた。

「子供たちがうのに、同じものをはつていいわけがない。学校目標も使つてはいけない、子供をしつかりみる。これから始めなさい、つて校長先生から厳しくいわれ悩みました。でも、子供たちをしつと見ていると、実に個性一杯で、どの子もやる気にあふれ、希望をもつてキラキラして……その輝きの中に、もつと違う自分を見つけた、つて思いを感じたんです。嬉しかったです。この子たちが作った目標が『夢の実現集団』でした。それから、子供たちと共に暮らしなすなかで、どんなことにも楽しさつて隠れているんだね、楽しいのが一番だよ、つて言葉がよく聞かれるようになったんです。これだと思えました。みんなの合言葉『何』とも楽しさに変える6年5組』の誕生です。自立つて、一方的に子供にまかせたり、やらせることではなく、子供と教師がありあつていくなかで、いつのまにか育まれていくんですよ。」

私は、子供たちと「暮らし」、「おりあつて」という村松先生の表現に、「子供の心にくいいる指導」を求め続けた、青小の先生方一人一人の努力の結晶を見出した。

一人一人の成長を刻む 学級文集づくり



★表紙絵＝飯島英明

●今年も魅力あふれる連載欄 ●卒業文集づくり-こんなアイデアを活かしたら ●学級のドラマを文集に ●心に残る学級文集づくり-こんなアイデアを ●1年間を締めくくる学級文集をどうつくるか/ ←GUIDE



●提言・子供が主役の学級づくりとはや(馬居政幸)
●クラブA=写真で見る学級会の話(合川つとむ)
(前田康裕/森 康行)
●子供を励ます言葉(多田元樹)

提言*楽しい「学級文集」づくり
個性重視の手作りの味を
卒業文集には、少しあぶないことを
学級活動のまとめ方のポイント
笠原 登 9
中野浩彰 10
加藤辰雄 11

「学級文集」づくりの工夫
心の成長がわかる思い出のページ
一人一人の成長の足跡を刻む
クラス・家庭の10大ニュースを盛る
版画・絵画・写真を生かす
家の人、先生からのメッセージ
山田 一 12
伊庭郁夫 16
新牧賢三郎 20
嶋田雄一 23
戸井和彦 26

「学級文集」づくり 小学校
低学年 毎日の実践を学級文集として残す
友達とのかかわりを大切にしたい学級文集
心とこころのキャッチボール
田中 力 35
川越政英 38
岡田 篤 41
川又健司 44
川又健司 44
渡辺直基 47
原田結花 50
細見紀子 53

「学級文集」づくり 中学校
高学年 学級の歴史を振り返る
子供を中心に、みんなおきの文集作りを
継続して書く場を設ける
島田光美 56
石川 晋 59
門島伸佳 62
黒木俊治 65
唐崎雅行 68

「卒業文集」づくり
卒業文集の内容の工夫
卒業文集のアイデア集
友達から友達へ、勇気の湧くメッセージを
卒業記念論文を書く
授業の一場面が見えるページ
6年間、できるよつになつた特集
「奥付」を入れよう
児童と担任+Qで作る
一人一人が主役
奥平厚洋 71
大野木一雄 74
熊谷 壽 75
小宮孝之 76
磯部 智 77
山内好明 78
日和佐磨 79
打矢敏昭 80

「私か心に書いた教師」
理論づくりに大きな影響をうけた庄司和晃先生
有田和正 81
なせ野外文化教育が必要か
青少年の育成に必要なこと
森田勇造 83
学級「育」の言葉の文化
野口芳宏 84
「教える」「学ぶ」の知の論理
指し援助する教師
吉本 均 86